

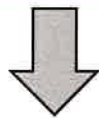
EVパワー・ステーション(VCG-666CN7)

停電時自立運転 (停電時の起動方法)

停電時、下記の操作を行うことで車両から宅内へ自立放電
(以下「放電」) できます。



①切替スイッチ※1を下段に切り替える。



②“充放電コネクタ”を「カチッ」と音がするまで
車両充電口に差し込む。



③車両の電源ソケットに本機付属の
“12V電源ケーブル”を接続し、
車両のパワースイッチをACCにする。 ※2※3



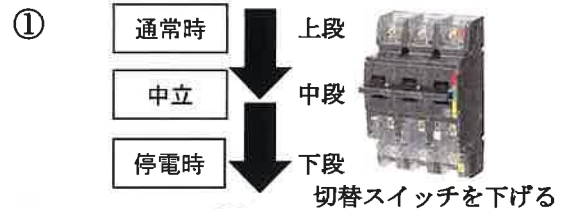
④本機左側面“12V IN”に“12V電源ケーブル”
を接続。 ※2



⑤本機の“放電”ボタンを押すと放電開始。 ※4

“放電”LEDが点滅の後、放電が始まると点灯に変わります。 ※5

停電から復旧した後、裏面(次ページ)に記載の方法で通常運
転状態に切り替えてください。



※1 切替スイッチは通常宅内ブレーカーBOXにあります、事前に設置場所をご確認ください。

通常時は上段に設定されています、停電時に下段に切り替えます。

※2 車種により③④の操作が不要です。詳細は車両の取扱説明書または車両をお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※3 パワースイッチ・ACC(アクセサリ)・電源ソケット(アクセサリソケット)は車種ごとに操作方法・名称・外観が異なるため、車両の取扱説明書を事前にご確認ください。

※4 一部車両では⑤の操作の後、パワースイッチをOFFにすると消費電力を抑えられます。

※5 放電開始前に停電から復旧している場合、本体を起動出来ないことがあります。裏面(次ページ)をご参照ください。

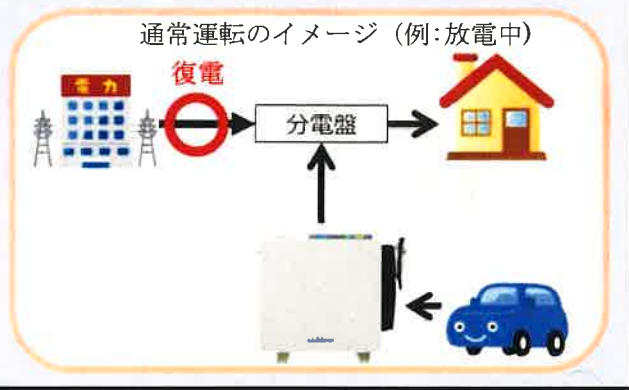
注意事項：

(i) 災害で停電した際はご自身の安全を確保した上で操作してください。火災などが起きないように安全確認のうえ操作・起動してください。

(ii) 本機から同時に供給できる電力は制限があります。①～⑤の操作を行う前に消費電力の大きな機器の電源をOFFにしてください。(例:電子レンジ、IH機器)

停電復旧後(復電後)の操作

停電時自立運転中は、家庭と本機が電力会社の電線と切り離された状態です。
 復電後、本機を停止し切替スイッチを元の上段に戻し、電力会社の電線と接続された状態にしてください。

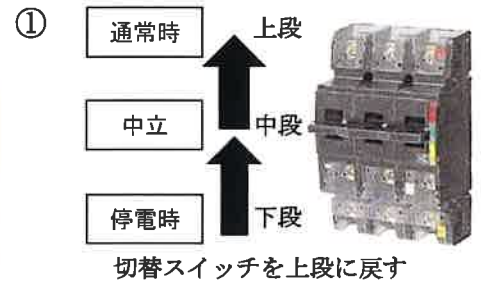


(a)“復電時放電継続設定”※6がOFFの場合 (工場出荷時はOFFに設定されています)

復電後、自動的に放電が停止します。(宅内は停電します。)

①切替スイッチを「上段」に戻す。

放電開始前に停電から復旧した場合は、放電を開始できません。
 周囲の復電をご確認後、切替スイッチを上段に戻してください。



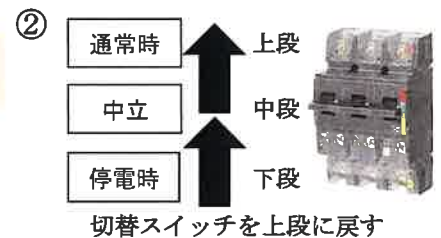
(b) “復電時放電継続設定”がONの場合

本機の“放電”LEDと“停止”LEDが同時に点滅し、放電が継続されます。

①本機の“停止”ボタンを押す。(宅内は停電します。)



②切替スイッチを「上段」に戻す。



※6 復電時放電継続設定：停電から復旧時、放電を継続させるための設定です。

OFFの場合：復電時に宅内は停電します。

ONの場合：復電時に宅内は停電しませんが、本体停止操作が必要で、停止操作時に宅内が停電します。
 操作パネルの設定画面“設定番号05”または、スマートフォンアプリ“本体設定”でご確認・設定変更することが出来ます。詳細は取扱説明書に記載しています。

当説明書の取り扱いについて

クリアファイル等に当説明書を封入して頂き、
 突然の停電の際にもお手に取りやすい場所に保管して頂く事をお勧めします。
 また、当説明書の内容は取扱説明書の一部表現を改変したものです。



EVパワー・ステーションHP